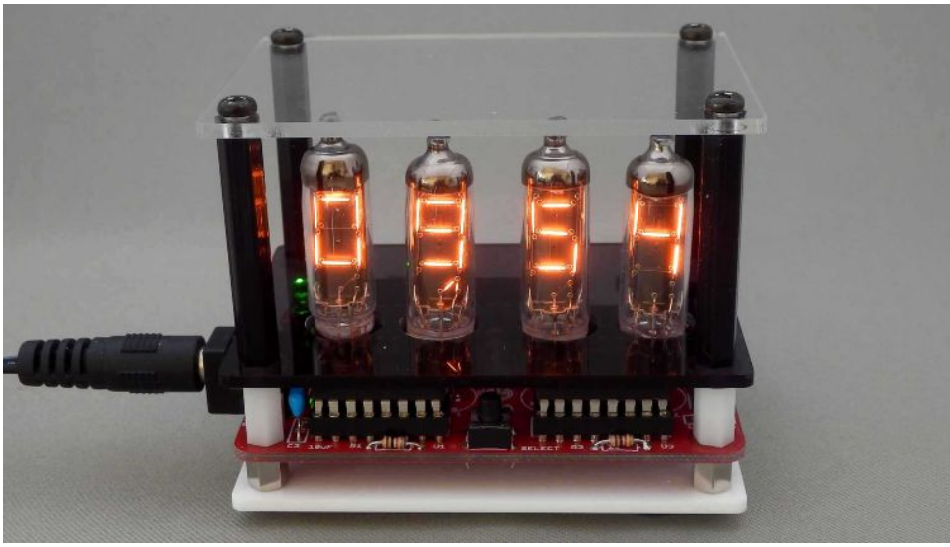
ＩＶ－９　ＣＬＯＣＫ　説明書

２０１６年１１月２１日　Ｔａｉｓｈｉ　Ｖ１．００　作成

２０１６年１２月２６日　Ｔａｉｓｈｉ　Ｖ１．０１　表示明度変化を追加

２０１６年１２月３０日　Ｔａｉｓｈｉ　Ｖ１．０２　写真変更

２０１７年1月２９日　Ｔａｉｓｈｉ　Ｖ１．０３　字句変更



この機器はフィラメント管（Ｎｕｍｉｔｒｏｎ）を使った　時計です。

ＡＣアダプターを使用しますが、リチウム電池を持っていますので

設計上は数ヶ月は電源を入れなくても　時刻の再設定の必要はありません。

電源を入れると最初は時分の表示になります。（表示モードの時分表示）

なお、動作モードは表示モードと設定モードの２つが有り、

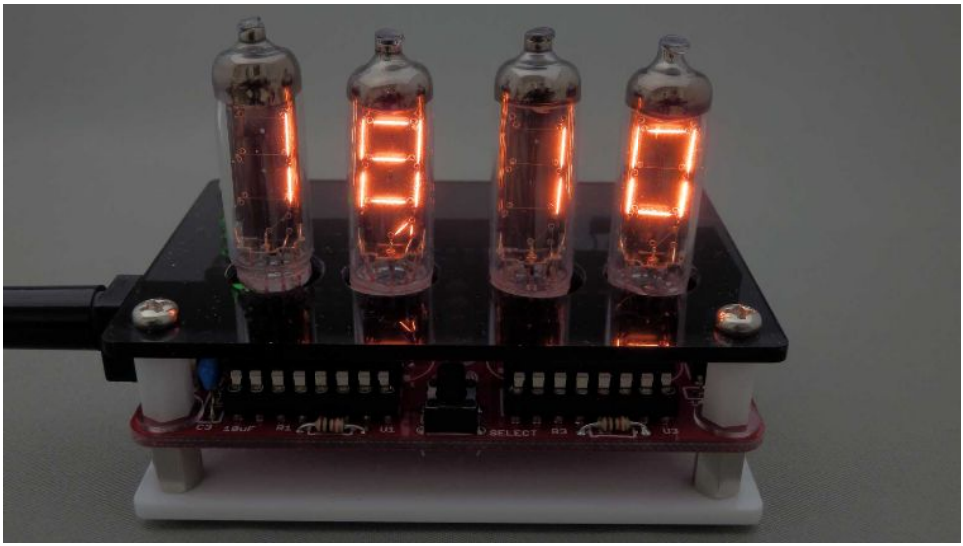
右側面の押しボタンスイッチ２により切り替えます。

電源スイッチは有りませんので、ＡＣアダプタ用ジャックに電源が接続された時に動作が始まります。

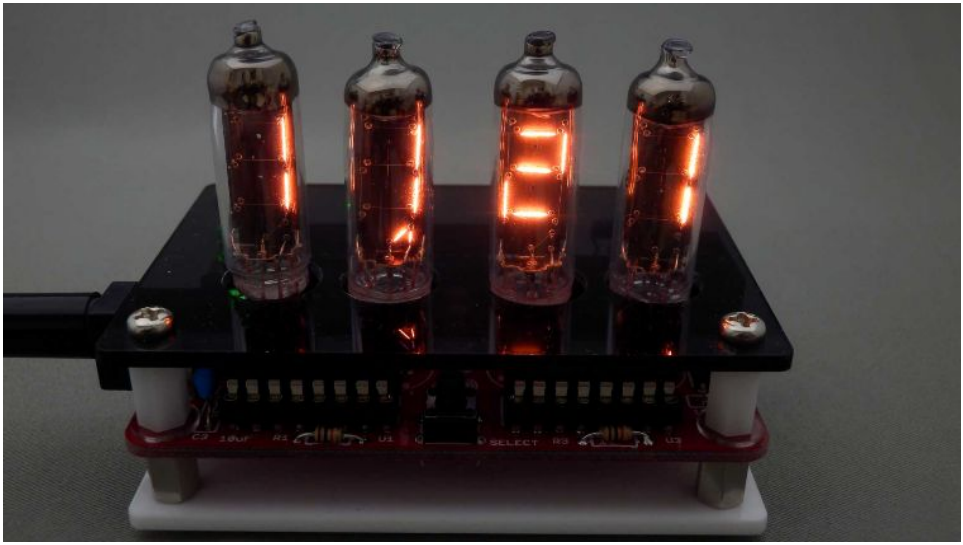
１．表示モード

ＡＣアダプタ用ジャックに電源が接続された時（通電された時）

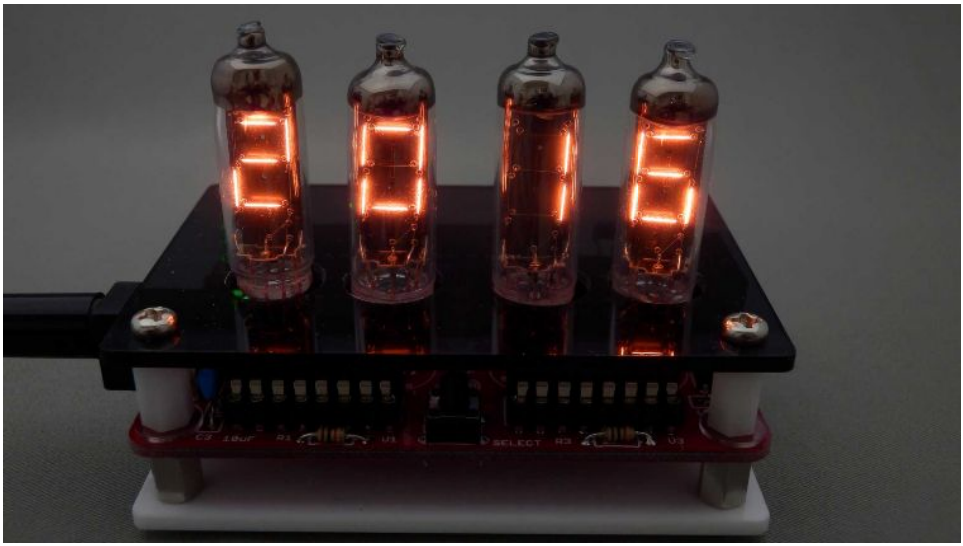
時分表示　１６時２３分



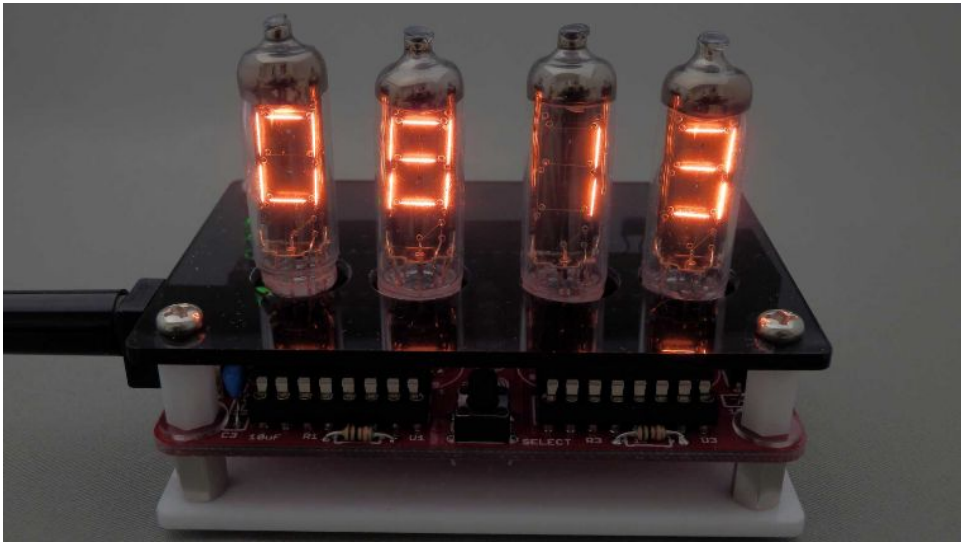
月日表示　０３月２０日



年表示　２０１６年



ＡＤ値表示　８１３



最初は　時分の表示で

正面押しボタンスイッチ１を短く（０．５秒以下）押すごとに

月日、年、ＡＤ値の順番で表示が変わります。　ＡＤ値の次は　時分秒に戻ります。

※時分の表示以外の時、２０秒以上スイッチ操作を行わなかった時は

自動的に表示モードの時分表示に戻ります。

※ＡＤ値は、周囲の明るさで変化します。

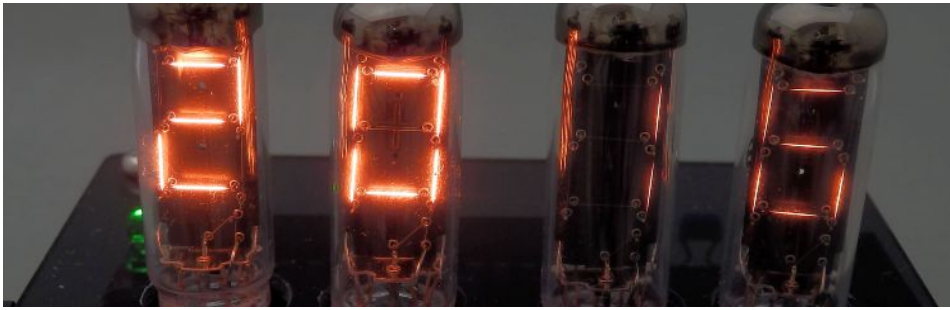
ＡＤ値（明るさ）に対応して、表示の明るさも三段階に変化します。

２．設定モード

時分の表示中に　右側面押しボタンスイッチ２を短く（０．５秒以下）押してから離すと

設定モードになります。

年設定



年の下２桁を設定します。（点滅している２桁の所、上の写真では薄く表示している所）

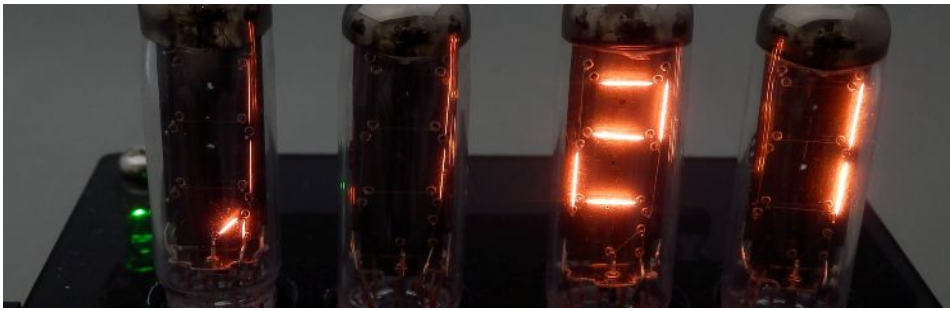
右側面押しボタンスイッチ２を短く（０．５秒以下）押すと＋１され、押し続けると

連続して＋１され、９９の次は００になります。（押している時は点滅しません）

正面押しボタンスイッチ１を短く押すと　設定した年の値を時計にセットし

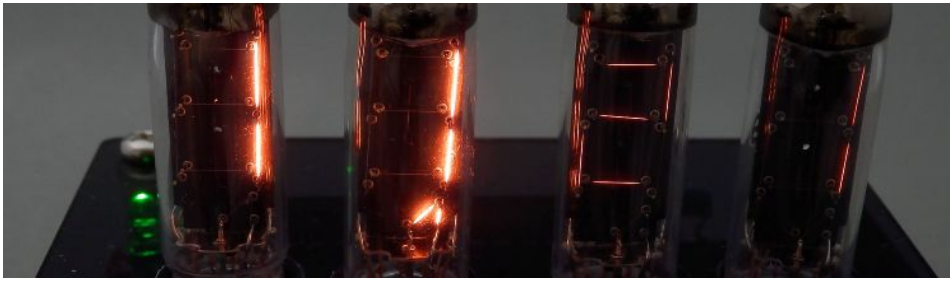
次の月設定に移ります。

月設定



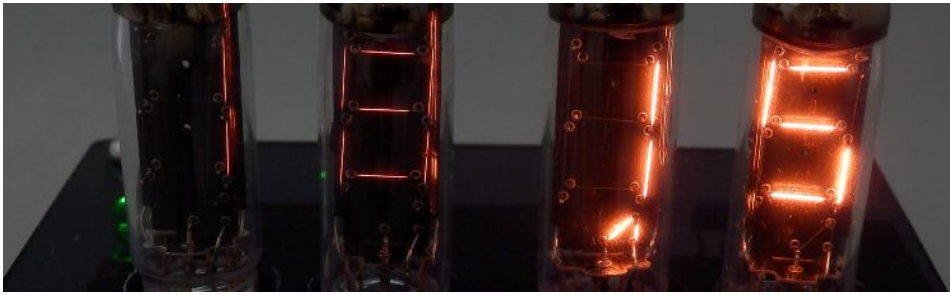
月の２桁を設定します。（点滅している２桁の所、上の写真では薄く表示している所）
右側面押しボタンスイッチ２を短く（０．５秒以下）押すと＋１され、押し続けると
連続して＋１され、１２の次は０１になります。（押している時は点滅しません）
正面押しボタンスイッチ１を短く押すと　設定した月の値を時計にセットし
次の日設定に移ります。

日設定



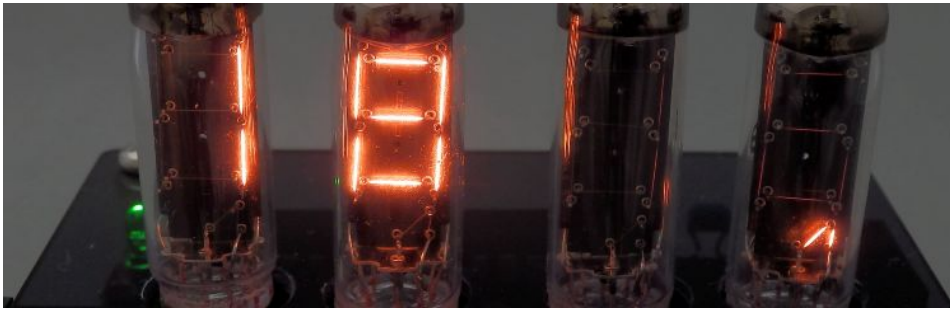
日の２桁を設定します。（点滅している２桁の所、上の写真では薄く表示している所）
右側面押しボタンスイッチ２を短く（０．５秒以下）押すと＋１され、押し続けると
連続して＋１され、３１（３０，２９，２８）の次は０１になります。
（押している時は点滅しません）
正面押しボタンスイッチ１を短く押すと　設定した日の値を時計にセットし
次の時設定に移ります。

時設定



時の２桁を設定します。（点滅している２桁の所、上の写真では薄く表示している所）
右側面押しボタンスイッチ２を短く（０．５秒以下）押すと＋１され、押し続けると
連続して＋１され、２３の次は０１になります。（押している時は点滅しません）
正面押しボタンスイッチ１を短く押すと　設定した時の値を時計にセットし
次の分設定に移ります。

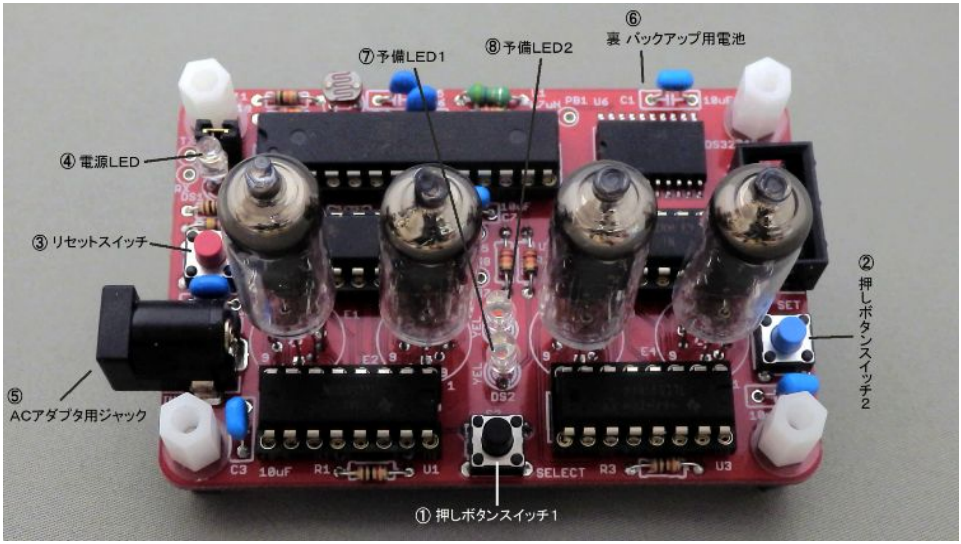
分設定



分の２桁を設定します。（点滅している２桁の所、上の写真では薄く表示している所）
右側面押しボタンスイッチ２を短く（０．５秒以下）押すと＋１され、押し続けると
連続して＋１され、５９の次は００になります。（押している時は点滅しません）
正面押しボタンスイッチ１を短く押すと　設定した分の値（秒は０になります）を
時計にセットし、表示モードの時分表示になります。

※以上の設定モードで２０秒以上スイッチ操作を行わなかった時は
自動的に表示モードの時分表示に戻ります。

３．スイッチ等の説明



①押しボタンスイッチ１：　表示、設定の時につかいます。

②押しボタンスイッチ２：　設定の時につかいます。

③リセットスイッチ：　押すとソフト的には電源を入れなおした時と同じになります。

④電源ＬＥＤ：　電源ＯＮの時に点灯します。

⑤ＡＣアダプタ用ジャック：　ＡＣアダプタの出力プラグを差し込みます。

⑥バックアップ用電池：　時計ＩＣ用のバックアップ電池でＣＲ１２２０を使います

⑦予備ＬＥＤ１：　未使用。

⑧予備ＬＥＤ２：　未使用。

４．注意事項

４．１．操作時の注意

基板を触る時は不必要な所には触らないようにしてください。

高圧が発生している訳ではありませんが、ＩＣの端子などに触ると

動作がおかしくなる事も有りますので注意してください。

４．２．使用上の注意

①付属のＡＣアダプタ以外を使わないでください。

電圧が違ったり、リップルが多かったりすると　ＩＣが壊れる事が有ります。

②構造上　物理的な衝撃には弱いので　取り扱いには注意してください。

内部のフィラメント管はガラス管ですので特に注意してください。

衝撃が加わりますと　壊れないまでも時計バックアップ用の電池が

外れたりする事が有ります。

見た目は電池ボックスに入っていても　電気的に接触していないことが有ります。

落としたり、ぶつけた後　時計が狂っている時は電池を確認してください。

③低温、高温状態での使用はやめてください。

人間が通常の作業が出来る環境（目安として５℃～３５℃）と考えてください。

直射日光などは当たらないようにしてください。

直射日光でなくても　日光が当たるとフィラメント管表示がよく見えないので

室内の外からの光が当たらない所で使ってください。

暗い所の方が見易いです。

④水の中、結露、水の当たる環境では使用しないでください。

⑤使用中　おかしいと感じた場合は　何に限らず　直ぐ電源を切ってください。

その後、連絡を下さい。

（状況をなるべく詳しく教えてください）

参考　時計用バックアップ電池は　この機器を使わずに放置した時で

計算上　数ヶ月持つ筈です。

交換する時は　ＣＲ１２２０を使ってください。